



日本で一番質の高い“食”&“ホスピタリティ”グループへ



第65期 中間報告書

2013年1月1日 ▶ 2013年6月30日

ROYAL

ロイヤルホールディングス株式会社

証券コード ● 8179

ロイヤル経営基本理念

ロイヤルは食品企業である。
 お客様から代金を頂くからには、
 一、食品は美味しくなければならない。
 一、調理・製造も取扱いも衛生的でなければならない。
 一、サービス販売は、お客様の心を楽しませ、
 社会を明るくするものでなければならない。
 以上のつとめを果たす報酬として、正当な利潤を得られ、
 ロイヤルも私共も永遠に繁栄する。

1956年(昭和31年)6月制定

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

「第65期 中間報告書」をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当社グループが主力とする外食事業を取り巻く環境は、消費マインドに改善の兆しが見られるものの、個人消費の本格的な回復には及ばず、引き続き厳しい経営環境にあります。

このような環境下ではありますが、昨年5年ぶりの増収増益を果たしました。平成25年度は、この増収増益基調を維持するとともに、さらなる飛躍を目指し各種経営施策を展開しております。当社グループは、日本で一番

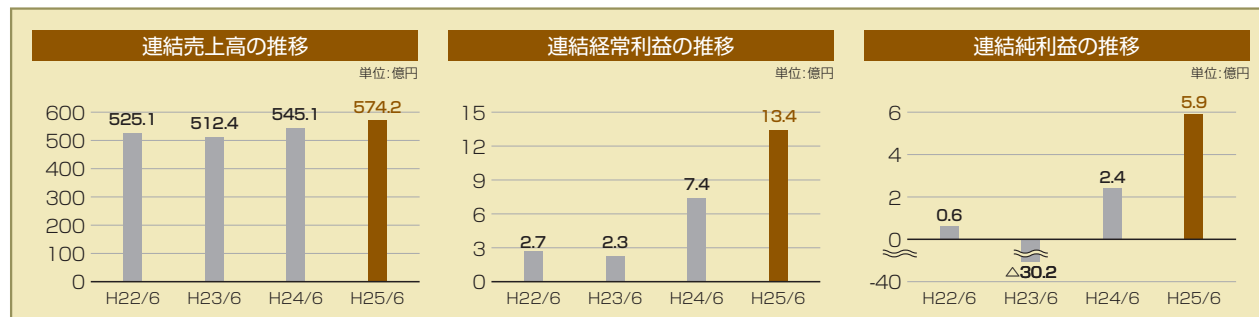
質の高い“食” & “ホスピタリティ”グループを目指し、中期経営計画「Fly to 2014」におきまして、増収増益の安定的継続による持続的成長を目標としておりますが、今後も増収増益を安定的に継続できるよう、引き続きロイヤル経営基本理念の実践に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成25年9月
 代表取締役社長 菊地 唯夫

連結決算ハイライト(中間)



当社グループでは、経営環境の変化と外食産業の構造的課題を踏まえ、昨年度より持続的な成長を基本方針とした中期経営計画「Fly to 2014」の実現に向け、「持続的成長」「増収増益の確保」「効率経営体への転換」を柱とした施策を展開しております。その2年目にあたる当連結会計年度におきましては「成長戦略の確実な実施」をキーワードに6つの事業戦略（①「ロイヤルブランドの再構築」②「成長エンジンの育成」③「収益基盤の拡大」④「時代対応業態の開発と進化」⑤「事業開発機能の強化」⑥「M&Aの活用・海外への進出」）と2つのインフラ戦略（①「インフラの強化とグループシナジーの追求」②「効率経営体への転換」）を骨子とした各種経営施策を着実に進めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は57,429百万円（前年同期比+5.3%）、営業利益は1,185百万円（前年同期比+100.2%）、経常利益は1,346百万円（前年同期比+80.7%）と増収増益となりました。また、特別損益として受取補償金など総額73百万円を特別利益に、固定資産除売却損125百万円など総額232百万円を特別損失に計上したほか、法人税等577百万円を計上しており、これらの結果、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は594百万円（前年同期比+142.6%）と増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は57,429百万円（前年同期比+5.3%）、営業利益は1,185百万円（前年同期比+100.2%）、経常利益は1,346百万円（前年同期比+80.7%）と増収増益となりました。また、特別損益として受取補償金など総額73百万円を特別利益に、固定資産除売却損125百万円など総額232百万円を特別損失に計上したほか、法人税等577百万円を計上しており、これらの結果、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は594百万円（前年同期比+142.6%）と増益となりました。

● 事業別の概況

外食事業

売上高 29,005百万円

- 業態転換を含めて17店舗を出店
- 「ロイヤルホスト」は、付加価値の高い商品の提供と既存店への追加設備投資等により、既存店の売上が前年実績を超過
- 「天丼てんや」は、直営店5店舗と国内フランチャイズ1店舗を出店

コントラクト事業

売上高 14,581百万円

- 法人からの委託等により、空港ターミナルビル、高速道路サービスエリア、大型商業施設等において、多種多様な飲食業態を展開
- 医療介護施設、法人向け飲食施設など、新規に8店舗を出店
- 空港ターミナルビルの利用者増加に伴い売上が増加

機内食事業

売上高 3,842百万円

- 円安傾向による海外からの渡航客が増加
- 世界の航空会社への搭載実績が評価され、新規就航路線での受注獲得

ホテル事業

売上高 8,504百万円

- 客室稼働率が高く推移、前期開業の「リッチモンドホテル浅草」が売上増加に寄与
- リッチモンドクラブ会員の増加とともに、高い会員宿泊占有比率を維持

食品事業

売上高 4,082百万円

- 外食インフラ機能として主に外食事業とコントラクト事業に対する食品製造、購買、物流事業のほか、一部グループ外向け製品を製造
- 外食事業を中心としたグループ内向け食品製造が増加

（注）ここまでに記載の売上高には、その他の営業収入を含めております。

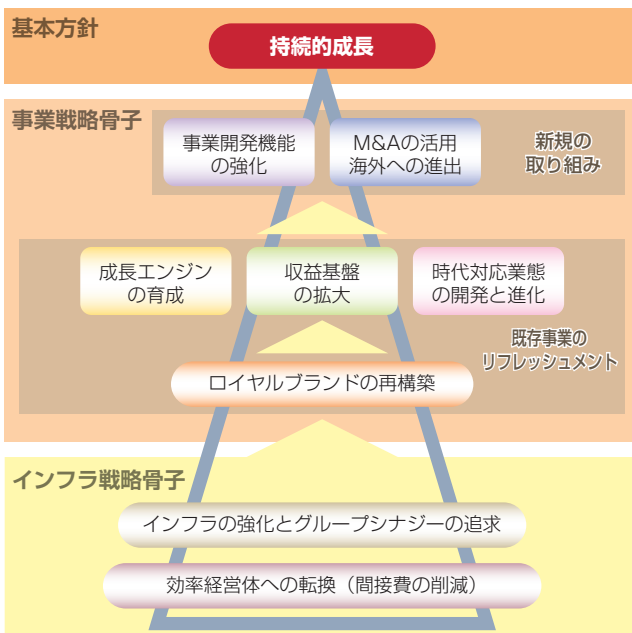
中期経営計画「Fly to 2014」

当社グループでは「ロイヤルグループ経営ビジョン2020」において「お客様の満足」を最大の目標とし、時代の変化にシなやかに対応する日本で一番質の高い“食” & “ホスピタリティ” グループを目指す」というグループビジョンを掲げております。

中期経営計画は、「経営ビジョン」の実現に向けた三段階の中期経営計画の第一段階と位置付け、「持続的成長」「増収増益の確保」「効率経営体への転換」を柱とした施策を展開しており、2012年は「基盤固め・成長戦略の浸透」を、中期経営計画2年目となる2013年は「成長戦略の確実な実施」を念頭に各種経営施策の展開に努めております。

景気の先行きは依然として不透明な状況が続くことが想定されますが、今後もロイヤルグループは持続性のある成長路線の道筋を描いてまいります。

【基本方針と戦略骨子】



ロイヤルブランドの再構築

ロイヤルホストは地域になくてもならない店として進化しています

ロイヤルホストは、昨年16年ぶりに既存店売上高前年比100%超えを達成しました。今年に入ってから引き続き前年を上回る水準で好調に推移しています。その要因の一つが、使用食材の品質向上への取り組みです。その取り組みの一環として、米国農務省の許可のもと行われる認定制度に合格したアンガスビーフを、5月からランドメニューで販売し好評をいただいています。また、食材の品質向上とともに、店内での調理作業の質の向上と安定をはかるため、最新厨房機器の導入を積極的に進めています。さらに、3月にはロイヤルホストとして5年ぶりの新店舗を、東京都八王子市内の商業ビル「セレオ八王子」に出店し、今後のロイヤルホストが目指すべき方向性の確立に努めています。



成長エンジンの育成



天井てんや 創立25周年を迎え全国展開を開始

天井・天ぷらチェーン「てんや」は、これまで首都圏の駅前を中心に店舗展開してきましたが、天井てんやとしては初となる駐車場付ロードサイド型店舗「京急大森海岸店」を6月に出店しました。また、従来の関東中心の店舗展開から、札幌市と大阪市に直営店を、福岡県北九州市にフランチャイズ店舗を2店舗出店するなど、創立25周年を迎え、さらなる飛躍を見据えた全国展開を開始しました。さらに、タイの大手飲食企業とフランチャイズ契約を締結し、2013年末までにタイに1号店を出店するとともに、東南アジア地域へのフランチャイズによる店舗展開の準備を進めています。

北海道大学病院内に「レストランROYAL」を開店

少子高齢化社会の進展とともに、病院内の飲食サービスは利用者ニーズの多様化など、大きな変化を迎えています。ロイヤルグループでコントラクト事業を展開するロイヤルコントラクトサービス株式会社は、5月に北海道大学病院内に「レストランROYAL」を開店しました。ロイヤルグループの総合力を活かしたオリジナルメニューや北海道産の食材を使用したメニューなど、品質の高い商品をホスピタリティのあるサービスで提供することで、病院内における心温まるコミュニケーション空間の創造を目指しています。



■ 四半期連結財務諸表 (要旨)

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期末	当第2四半期連結会計期間末	
	H24.12.31 現在	H25.6.30 現在	
資産の部	流動資産	15,883	15,054
	固定資産	60,875	62,364
	有形固定資産	34,202	35,124
	無形固定資産	789	696
	投資その他の資産	25,882	26,543
	資産合計	76,759	77,418
負債の部	流動負債	18,665	19,713
	固定負債	17,351	16,003
	負債合計	36,017	35,716
純資産の部	株主資本	39,981	40,112
	資本金	13,676	13,676
	資本剰余金	23,708	23,918
	利益剰余金	5,320	5,452
	自己株式	△ 2,724	△ 2,934
	その他の包括利益累計額	154	1,035
	少数株主持分	605	553
	純資産合計	40,741	41,701
	負債・純資産合計	76,759	77,418

● 四半期連結貸借対照表

資産の部

総資産は、659百万円増加しました。売掛金等の流動資産が減少した一方、投資有価証券、有形固定資産が増加しました。

負債の部

負債は、300百万円減少しました。借入金が増加した一方、季節的要因等により未払金などが減少しました。

純資産の部

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加などにより959百万円増加しました。自己資本は41,148百万円となり、自己資本比率は53.2%（前期末から0.9ポイント上昇）となりました。

● 四半期連結損益計算書

売上高は、その他の営業収入を含めて57,429百万円（前年同期比+5.3%）、経常利益は、1,346百万円（前年同期比+80.7%）となり、2期連続の増収増益となりました。

収益基盤の拡大

関西国際空港で機内食事業を運営する株式会社関西インフライトケイタリングは、国際的な機内食会社監査プログラムQSAI(Quality&Safety Alliance Inflight Services)において、食品取り扱いの安全および品質について、世界3地域(南北アメリカ、アジア・太平洋、ヨーロッパ・



中東・アフリカ)において最も優秀な機内食会社として、2012年度「ワールドワイド・プラチナ賞」ならびに「アジア太平洋地域・金賞」を受賞しました。

新たな業態の開発と進化

ロイヤルガーデンカフェは、「Sustainable Community(サステイナブル コミュニティ)」をテーマに、食を中心とした様々なコミュニティを育てるカフェ&レストランを目指し、2008年に青山店を開業しました。2010年に開業した2号店の渋谷店においても青山店同様、人気の蓄積に努めるとともに、ブランドの確立と事業モデルの構築に注力してきました。その結果、今年3月に横浜市、7月に名古屋市と2店舗の出店を実現しました。今後もロイヤルガーデンカフェは、新しい時代に対応したミドルサイズのレストランとして日々進化を続けていきます。



四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	H24.1.1 ▶ H24.6.30	H25.1.1 ▶ H25.6.30
売上高	53,505	56,387
売上原価	16,790	18,049
売上総利益	36,714	38,338
その他の営業収入	1,010	1,042
営業総利益	37,725	39,380
販売費及び一般管理費	37,133	38,194
営業利益	592	1,185
営業外収益	405	416
営業外費用	252	255
経常利益	745	1,346
特別利益	90	73
特別損失	159	232
税金等調整前四半期純利益	676	1,188
法人税等	446	577
少数株主損益調整前四半期純利益	229	610
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 15	15
四半期純利益	245	594

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	H24.1.1 ▶ H24.6.30	H25.1.1 ▶ H25.6.30
営業活動による キャッシュ・フロー	2,082	2,386
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,155	△ 3,666
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,277	1,152
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△ 351	△ 127
現金及び現金同等物の 期首残高	5,370	4,964
現金及び現金同等物の 四半期末残高	5,019	4,836

会社の概況

● 会社概要 (平成25年6月30日現在)

会 社 名	ロイヤルホールディングス株式会社 (英文名 ROYAL HOLDINGS Co., Ltd.)
設 立	昭和25年4月
資 本 金	13,676,179,700円
従 業 員 数	連結 2,370名
東 京 本 部	東京都世田谷区桜新町一丁目34番6号
本 社	福岡県福岡市博多区那珂三丁目28番5号
事 業 内 容	グループの経営を統括・管理する 純粋持株会社

● 役 員 (平成25年6月30日現在)

取締役

代表取締役社長	菊 地 唯 夫
専務取締役	矢 崎 精 二
取 締 役	野々村 彰 人
取 締 役	黒 須 康 宏
取 締 役	木 村 公 篤
取 締 役	貴 堂 聡
取締役相談役	富 永 真 理
社外取締役	末 吉 紀 雄

監査役

常 勤 監 査 役	浦 一 馬
常 勤 監 査 役	小 村 吾 郎
社 外 監 査 役	高 橋 信 敏
社 外 監 査 役	久 保 田 康 史

株主優待制度 詳細は <http://www.royal-holdings.co.jp/ir/stockholder/>

対 象	毎年6月末および12月末現在の株主名簿に記載された 100株以上ご所有の株主の皆様。
内 容	6月末の株主様には9月中旬に、12月末の株主様には3 月下旬にそれぞれ、株式数に応じて「株主ご優待券」を ご送付申し上げます。

ご所有株式数	株主ご優待券
100株以上500株未満	年間 1,000円分 (500円×1枚×2回)
500株以上1,000株未満	年間 10,000円分 (500円×10枚×2回)
1,000株以上 (一律)	年間 24,000円分 (500円×24枚×2回)

株式の情報

平成25年6月30日現在

Shareholders Information

株式の状況

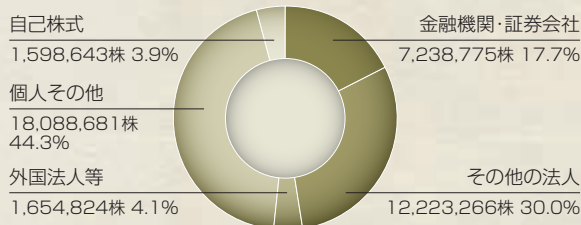
発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	40,804,189株
単元株式数	100株
株主数	20,121名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
キルロイ興産株式会社	3,174	8.10
公益財団法人頭ホスピタリティ 事業振興財団	2,452	6.25
株式会社ダスキン	1,400	3.57
日本生命保険相互会社	975	2.49
コカ・コーラウエスト株式会社	962	2.45
株式会社西日本シティ銀行	955	2.44
株式会社福岡銀行	833	2.13
ハンナン株式会社	692	1.77
株式会社三越伊勢丹	681	1.74
資産管理サービス信託銀行株式会社 (信託E口)	640	1.63

(注) 当社は、自己株式1,598千株を所有しております。上記の持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会 毎年3月開催
基準日 定時株主総会 毎年12月31日
期末配当金 毎年12月31日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先(※) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先(※) ☎0120-782-031

(※) 平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が上記のとおり変更となっております。

公告方法 当社のホームページに掲載いたします。
(<http://www.royal-holdings.co.jp/>)

上場取引所 東京証券取引所第一部
福岡証券取引所

株式に関する各種手続き

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求・増請求等の各種手続きは、口座を開設されている証券会社宛にお願いいたします。

証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

※平成22年5月1日に株式会社テン コーポレーションとの株式交換に伴う株式の割当により当社株主となられた株主様のうち、証券会社に口座を開設されていない株主様のご連絡先は、以下のとおりです。

特別口座の口座管理機関 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 ☎0120-288-324

IRサイトのご案内

アドレス <http://www.royal-holdings.co.jp/ir/>

ロイヤルホールディングス株式会社

〒154-8584 東京都世田谷区桜新町一丁目34番6号
電話：(03) 5707-8830



この冊子は、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています